

【表紙】

|            |                                                                      |
|------------|----------------------------------------------------------------------|
| 【提出書類】     | 有価証券報告書の訂正報告書                                                        |
| 【根拠条文】     | 金融商品取引法第24条の2第1項                                                     |
| 【提出先】      | 中国財務局長                                                               |
| 【提出日】      | 平成26年11月14日                                                          |
| 【事業年度】     | 第58期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)                                       |
| 【会社名】      | 広島観光開発株式会社                                                           |
| 【英訳名】      | Hiroshima Tourism promotion co., Ltd.                                |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 古武家 雅光                                                       |
| 【本店の所在の場所】 | 広島市中区東千田町二丁目9番29号<br>(上記は登記上の本店で実質上の本社業務は、最寄りの連絡場所に<br>記載の場所で行っている。) |
| 【電話番号】     | (0829)44－0880 代表                                                     |
| 【事務連絡者氏名】  | 取締役総務部長 大田 和広                                                        |
| 【最寄りの連絡場所】 | 広島県廿日市市宮島町紅葉谷公園                                                      |
| 【電話番号】     | (0829)44－0880                                                        |
| 【事務連絡者氏名】  | 取締役総務部長 大田 和広                                                        |
| 【縦覧に供する場所】 | 該当事項はない                                                              |

## 1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年6月20日に提出いたしました第58期(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

### 第2 事業の状況

#### 1 業績等の概要

#### (2) キャッシュ・フローの状況

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

### 第一部 【企業情報】

### 第2 【事業の状況】

#### 1 【業績等の概要】

#### (2) キャッシュ・フローの状況

#### (訂正前)

当事業年度末における現金及び現金同等物は、400,429千円である。前年同期に比べ65,935千円の減少となった。

営業活動によるキャッシュ・フローは、147,983千円（前年同期比85,034千円の減少）となったが、これは主として「清盛」後の対策として展開された大型観光キャンペーン、宮島弥山展望台が仮オープンしたことを記念して行ったフォトコンテストやスタンプラリー等、積極的な広告展開や旅客誘致策の効果が寄与したことによるものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは、198,919千円（前年同期比171,648千円）の支出となったが、これは平成25年3月に行った獅子岩線の原動・遊動滑車更新等の設備投資（合計102,665千円）の支払を4月に行った影響によるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いを行ったため、15,000千円（前年同期比5,000千円の増加）の支出となった。

#### (訂正後)

当事業年度末における現金及び現金同等物は、400,429千円である。前年同期に比べ65,935千円の減少となった。

営業活動によるキャッシュ・フローは、148,610千円（前年同期比84,407千円の減少）となったが、これは主として「清盛」後の対策として展開された大型観光キャンペーン、宮島弥山展望台が仮オープンしたことを記念して行ったフォトコンテストやスタンプラリー等、積極的な広告展開や旅客誘致策の効果が寄与したことによるものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは、199,546千円（前年同期比172,275千円）の支出となったが、これは平成25年3月に行った獅子岩線の原動・遊動滑車更新等の設備投資（合計102,665千円）の支払を4月に行った影響によるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いを行ったため、15,000千円（前年同期比5,000千円の増加）の支出となった。